

NSF、協働ロボットの開発及び利用促進に向け総額 3,700 万ドルを助成（12 月 17 日）

米国科学財団（National Science Foundation : NSF）は 12 月 17 日、人間と協力して働く「協働ロボット（co-robot）」の開発・利用を促進するために、国防総省（Department of Defense : DOD）、国防高等研究計画局（Defense Advanced Research Projects Agency : DARPA）、米航空宇宙局（National Aeronautics and Space Administration : NASA）、国立衛生研究所（National Institutes of Health : NIH）、及び、農務省（Department of Agriculture : USDA）とのパートナーシップの下で、総額 3,700 万ドルを助成することを発表した。本助成は、省庁横断型で 2011 年 6 月に立ち上げられた「米国ロボットイニシアティブ（National Robotics Initiative : NRI）」における第 4 回目の助成となる。今回助成を受給するのは、27 州に所在する研究機関 49 組織による新規研究プロジェクト 66 件で、脳制御による人工装具プロトタイプに関する研究、捜索救助活動を行うロボットチームの開発、及び、様々な医療ケアを補佐するロボットの構築などが含まれる。

National Science Foundation, National Science Foundation and federal partners award \$37M to advance nation's co-robots

[http://www.nsf.gov/news/news\\_summ.jsp?cntn\\_id=137214&WT.mc\\_id=USNSF\\_51&WT.mc\\_ev=click](http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=137214&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click)